

従業員のしあわせは  
企業のしあわせ

# 従業員の 結婚応援



## スタート ブック

～希望をかなえるヒントが見つかる 優良事例 20～

結婚や妊娠、出産などについては、個人の考えや価値観が尊重されることが大前提で、個々の判断が最優先されるべきです。しかし、県民意識調査によれば、多くの方が結婚を希望しているにも関わらず、「出会いの場がない」という理由から結婚に至っていないという状況があり、県民の皆さんの希望と現実との間にギャップが生じています。

そのため三重県では、結婚を希望する方が希望をかなえることができるよう、平成26年12月に「みえ出逢いサポートセンター」を設立するとともに、平成27年3月に策定した「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」においても、「出逢いの支援」を重点的な取組の1つに位置づけ、様々な取組を進めています。

職場における結婚支援の取組についても、知事との「<sup>こんいく</sup>婚育トーク」の実施やセミナーの開催、アドバイザー派遣などに取り組んできました。

しかし、企業や団体の皆さんからは、「具体的に何をしたらよいか分からない」、「セクシャルハラスメントにつながらないか」など様々な声もいただいているところです。

そこで今回、企業・団体の皆さんにも、結婚を希望する従業員の方が自らの希望をかなえることができるよう、県と一緒に応援していただきたいと考え、県内外の企業や団体の取組事例などを冊子としてまとめました。

従業員の幸せは企業の幸せにつながります。この冊子が皆様の豊かな職場づくりのきっかけとなれば大変嬉しく思います。

平成30年3月

三重県知事 鈴木 英敬



# 企業が従業員の結婚を応援する重要性・メリットとは？

埼玉大学教授 石阪 督規氏

企業にとって、優秀な人材の確保と定着は、生き残るために不可欠な要件ともいえます。高い給料や職位を保障するだけでは、もはや若者は会社にとどまってくれません。働き方を見直して作業効率をアップさせる、社内のコミュニケーションを活発化させる、地域との交流を進めるなど、従業員が長期にわたって、安心して働き続けることができる職場環境をつくっていくことが求められるようになってきています。

企業が、従業員の結婚を応援するメリットは、まさにこうした働く者にやさしい職場環境を提供することで、優秀な人材を獲得し、それらを長期にわたって定着させることができるという点にあります。パートナーがいることで、精神的にも、また経済的にも安定し、公私ともに充実した生活を送れる従業員が増えれば、従業員の満足度も向上し、企業の生産性や経営効率も上がります。

もちろん、結婚する、しないは、個人の自由です。しかし、企業が、出逢いをサポートしたり、さらにワーク・ライフ・バランスや育児休業の取得を促進したりすることは、従業員の生き方、働き方の選択肢を広げることにつながります。いま、若者たちから「選ばれる」企業になるためにも、非婚化という今日の社会課題に真摯に向き合う姿勢が求められています。

## 企業が従業員の結婚を応援することによるメリットはたくさん！

- **業務効率化につながる** 家族やパートナーとの時間を持つために時間管理意識が向上。職場や業務に工夫が生じ、生産性がアップします。
- **離職率が低下する** 企業が従業員の結婚を応援する過程で様々なコミュニケーションが生まれ、会社全体の風通しの良さにつながります。また、家族を持つことでより責任感が向上し、離職防止につながり、従業員の長期定着が可能となります。
- **優秀な人材の確保につながる** 給与や役職より働きやすさを求める若者が増える中、従業員のライフプランを会社が真剣に考え、安定した生活基盤を提供することは、人口減少社会における採用、人材獲得に有利に働きます。
- **企業イメージが向上する** 働きやすく、長期にわたって従業員が自身のライフプランを描ける会社、ワーク・ライフ・バランスを推進する企業として企業イメージがアップします。
- **CSR（企業の社会的責任）を果たせる** 人口減少や、若者流出などの地域課題に取り組む企業として、地域社会に貢献できます。

いしざか とくのり  
埼玉大学教授 **石阪 督規** 氏

1970年東京都生まれ。広島大学大学院修了後、三重大学講師、准教授、三重大学キャリア支援センター長、東京未来大学教授を経て現職。専攻はコミュニティ再生、若年無業者問題などの社会学・地域社会学。現在は、三重県観光審議会会長、三重県地方創生会議委員、三重県南部地域活性化推進協議会アドバイザー、みえ若者就労支援ネットワーク運営委員を務めながら、若者の自立や結婚、移住・定住に向けた取組を支援するほか、多くの自治体や地域のまちづくり、地域再生に携わる。著書に『ニートを救う地域のネットワーク力』など。



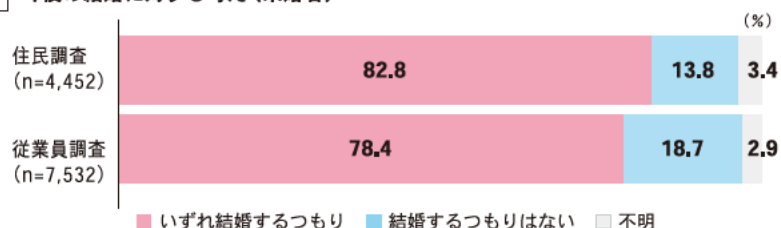


本冊子「従業員の結婚応援スタートブック ~希望をかなえるヒントが見つかる 優良事例20~」は、企業の皆様からの「従業員の結婚を応援したいが、何からはじめれば良いのかわからない」、「ハラスメントにならない支援の方法はないだろうか」という声から誕生しました。

## 結婚や子育て、仕事に関する意識調査の結果からわかる三重県の結婚状況

県が平成29年度、県民と県内事業所に行ったアンケートによると、未婚の方の約8割は「いずれ結婚するつもり」と回答しています。その一方で、三重県の20～30歳代の未婚率は年々上昇しており、現在は男性は57.7%、女性が46.1%となっています。

図表1 今後の結婚に対する考え（未婚者）



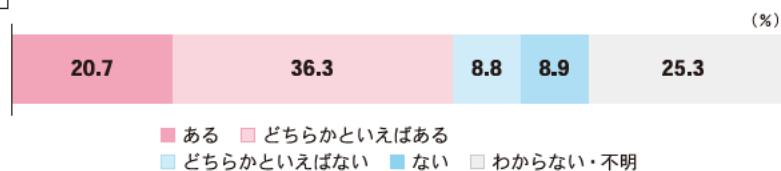
## 半数以上の企業が結婚を支援したいと考えています

今、人口減少社会の中で人材の定着や自社の発展を考え、結婚支援に取り組み始める企業が増えています。県内の5割以上の事業所は従業員の結婚を支援したいと回答しており、従業員についても、約7割が職場からの結婚支援を望んでいます。

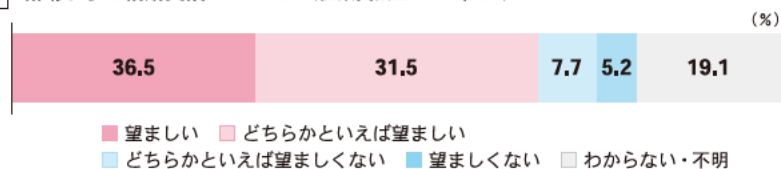
### 結婚が従業員に与える仕事への影響

- ・仕事に対するやりがいを感じるようになった
- ・精神的な余裕が生まれ、周りにも寛容になった
- ・業務効率を重視するようになった

図表2 結婚を希望する従業員を支援する考え（事業所調査 n=1,482）



図表3 職場からの結婚支援について（従業員調査 n=22,186）



## 「結婚支援といっても何から始めたらよいのかわからない」

結婚支援と言えば、出逢いの場づくりやお見合いなどのセッティングをイメージされる方も多いですが、結婚は個人の意思や選択が尊重されるべきものですから、企業による結婚支援においても「結婚するべきだ」という価値観の押しつけがあってはいけません。

企業による結婚支援の取組としては、まず自社の職場環境において「結婚したい人が結婚できる環境であるか」を検証いただくことから始めていただければと思います。

手順としてはまず、社内における対話やワーク・ライフ・バランス、福利厚生を見直し、結婚しやすい環境をつくることです。次のステップで、人（社内・社外）との交流（出逢い）機会を設けたり、直接的な結婚に関する支援（出逢いのイベントの周知など）をしていくのが良いでしょう。



## ハラスメントの心配について

### 石脇法律事務所 石脇大輔弁護士に伺いました。

恋愛や結婚は個人の自由な意思決定に基づくものであり、他人が特定の価値観を押し付けるものではないということを前提としてご理解ください。その上で、セクハラについてご説明いたしますと、セクハラにあたるかどうかは、個人によって不快に思うかどうか異なるため、当該個人の主観のみならず平均的な人間の感じ方を基準に判断するものとされています。例えば本人が乗り気でないのに繰り返す何度も参加するよう促したり、断ったことを理由に何らかの不利益を課したりするとセクハラになると思われます。また、結婚支援に積極的に参加する人を優遇するような扱いをするのも問題です。

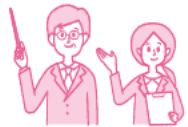


まずは、結婚を希望する従業員がその希望をかなえやすい職場環境を整えることから始めてみてはいかがでしょうか。そのためには、普段より積極的に従業員と対話をし、風通しの良い職場づくりを心がけることが大切です。従業員との間により良い人間関係を構築することで、職場環境における課題やニーズをより明確につかむことができ、効果的な改善を行うことが可能になることでしょう。

次ページからは、企業の皆様がすぐにも従業員の結婚支援を始めていただけるように「若い世代の労働条件や職場環境の充実」、「結婚につながる各種支援制度の充実」、「結婚を直接支援する制度の充実」、「未婚者を対象とした出逢いの機会等の取組」を実施されている企業取材し、紹介しています。ぜひご活用ください。



出典：「結婚や妊娠・出産、子育てに関する県民意識調査」(18～39歳の住民30,552人) ※図表1  
 「仕事と結婚・妊娠・出産・子育ての両立促進に関する労使意識調査」(労働組合員30,276人) ※図表1、3  
 「企業や事業所における仕事と結婚・妊娠・出産・子育ての両立促進に関する意識調査」(県内3,000の事業所) ※図表2



- P1 三重県より
- P2 企業が従業員の結婚を応援する重要性・メリットとは？ 埼玉大学教授 石坂 督規氏
- P3 はじめに ～企業による結婚支援について～

優良事例集

企業

- P7 出逢いは個人と企業の成長に！～社員に家族を持つ素晴らしさを伝えたい！～ 株式会社 SEED (四日市市)
- P8 出逢い、結婚からその後の生活まで充実した経済支援で結婚を後押し 株式会社中村組 (四日市市)
- P9 「安心して働ける、休める」従業員の希望をかなえる職場づくりを 医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター (四日市市)
- P10 出逢いイベントの主催が社員のコミュニケーションのきっかけに 富士電機労働組合 三重支部 (四日市市)
- P11 有給休暇取得の理由は聞かない！カギは「ライフ」を中心とした「ワーク」への意識変革 株式会社 佐野テック (三重郡菟野町)
- P12 変化を恐れずやってみる！メリハリのある働き方ができる職場づくり 日本政策金融公庫 津支店 (津市)
- P13 「役員が人生相談まで！」アイデア溢れるコミュニケーションで社員の希望をかなえたい 宇野重工株式会社 (松阪市)

- P14 業務の「見える化」「平準化」！有給休暇の取りやすさでワークもライフも前向きに 株式会社エムワン (松阪市)
- P15 在宅ワークや子連れ出勤「やろうと思えば方法はある！」従業員の幸せを！ 有限会社ベルクリック (松阪市)
- P16 社員交流、社内恋愛大歓迎！「プチコミファミリー制度」で明るい社風 万協製薬株式会社 (多気郡多気町)
- P17 職場改革・ライフプランセミナー・出逢い支援のトライアングルでライフの充実をサポート 横濱ゴム株式会社 三重工場 (伊勢市)
- P18 いせ若者応援ネットワークを上手く活用し取組が加速「守るものがある」ことの素晴らしさを伝えたい 株式会社丸井鉄工所 (伊勢市)
- P19 社員との徹底的な対話で「少しだけ先回り」した支援を 株式会社プロフィット (度会郡玉城町)

三重県の「出逢いサポート企業」「出逢いワーク」「みえのイクボス同盟」「みえの企業・団体の中で、優れた結婚支援を行っている企業・団体」を取材しました。

団体

- P20 結婚支援は従業員・企業・地域の強みを活かしたイベントと企画でまちに活気を！ ゆめぼり 伊賀立地企業連絡会 (伊賀市)
- P21 地域のみんで「おせっかいさん」を養成！地域ぐるみで結婚への希望をサポート 尾鷲結婚支援実行委員会 (尾鷲商工会議所)

自治体

- P22 企業担当者と連携会議を開催「いなべ市に住む」イメージづくりを いなべ市
- P23 若手職員によるプロジェクトチームで「津らしさ」にこだわった出逢い支援を 津市
- P24 「いせ出逢い支援センター」を核にひと・企業・地域に広がるネットワークの輪 伊勢市

その他 (県外の注目事例)

- P25 従業員の幸せのために何ができるのか～「ふくい結婚応援企業」職場の縁結びさんの活動～ 株式会社福井銀行 (福井県)
- P26 地元企業が一丸となり「地域に根付く人づくり」を婚活イベントへのポジティブな印象が成功へのカギ B-with (広島県)

- P27 ～従業員のしあわせは企業のしあわせ～ 今日から始める結婚支援
- P29 みえ出逢いサポートセンターとは



## 出逢いは個人と企業の成長に！ ～社員に家族を持つ 素晴らしさを伝えたい！～

3児のパパで  
イクメン  
専務取締役  
脇田 泰明さん



株式会社SEED (四日市市)

### 企業プロフィール

業種 保険代理店

従業員数 21名

勤務体系 フルタイム・土日休

男女比 男性が多い (緑星) 女性が多い

年齢層 低め (緑星) 高め

未婚割合 未婚者が多い (緑星) 既婚者が多い

### 取組事例

#### 新卒者が定年まで働きたいと思う会社であるか

当社には2つの課題があります。1つは、社員の高齢化が進む中で若手社員の雇用や定着。もう1つは社員のワーク・ライフ・バランスの改善。この2つを踏まえ、「働きやすさ」や「健康的で精神的に豊かな生活」について社内で検討し、出逢い支援や育児支援に取り組んでいます。

#### 出逢い支援と育児支援で相乗効果を生む

独身社員に家族を持つ素晴らしさを伝えたいため、家族写真を飾ったり、家族と過ごす楽しい時間について話すようにしています。結婚をキーワードにせず、家族について話す方が自然で、「家族っていいな、家族を持ちたいな」と思ってもらえれば結婚に前向きになりますよね。

家族のいる社員には子育てとの両立がしやすいよう有給休暇や育児の取りやすさを工夫しています。結婚は家族を持つことですから、出逢うことも大切ですが、家族を持った後の生活が想



何でも話せる雰囲気づくりが一番大切

像できる環境づくりも行うことで相乗効果が生まれると考えています。

#### 「幸せになる」イメージが共有できてきた

社員の反応は好評です。家族を持ちたい社員は前向きにプライベートでも活動しているようです。人と出逢い、自分を磨くことは自身の成長につながりますし、その成長は会社にもプラスです。また、育児支援は結婚したあとの働き方が想像しやすく、身近な社員がモデルにもなるようです。妊娠を機に退社した社員が、その後、一旦他社に就職されたようですが、働きやすい職場であるということで当社に戻ってきました。これは嬉しかったですね。

#### 中小企業だからこそ柔軟に対応できることを実行する

働き方の工夫や育児支援などは中小企業だからこそ柔軟にできることがあると思っていますし、結婚支援についても社員の成長につながることで、幸せになることを社員と未来を語る中でイメージしていくと、自然と見えてきたように思います。まだまだスタートしたばかりですが、これからも出逢い支援、育児支援をしっかりやっていきたいですね。

## 出逢い、結婚から その後の生活まで 充実した経済支援で結婚を後押し

総務部長  
伊藤 嘉泰さん



株式会社中村組（四日市市）

### 企業プロフィール

業種 総合建設業

従業員数 62名

勤務体系 フルタイム・土日祝休

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 豊富な経済支援制度で 結婚を前向きに考える社員が増えた

当社では、四日市法人会主催の出逢いイベント等、社内でも認められた出逢いイベントに社員が参加する場合には、その参加費を補助する制度があります。また、結婚に至った場合、結婚祝い金、家賃補助制度、扶養人数に応じた家族手当があります。

出逢い、結婚、その後の生活まで充実した経済支援制度を整備することで、結婚という大きなライフイベントを不安なく迎えていただきたいと考えています。

#### イキイキとした毎日を送ってほしい

最近、男性社員が出逢いイベント参加費の補助を受けて参加し、その場で見事意中の女性とカップルになったそうです。現在は充実した毎日を送っているようで、とても微笑ましいですね。社員の中にはバリバリ働いて稼ぎたいという人もいれば、プライベートを充実させたいという人もいます。自分らしくイキイキとした毎

日を過ごしていただきたいため、当社では業務に支障がない範囲で有給休暇取得や残業の有無については社員個人に一任しています。

その中で、会社の制度や取組を利用することによって、より充実した生活を送っていただければと思います。

#### 結婚に対して前向きになれる機会の提供を

未婚の方の多くが経済的な不安のために結婚を諦めているという現実を踏まえ、経済的な支援制度は引き続き周知、利用促進に努めていきたいです。それに伴い、出逢いイベントの参加費補助も対象の幅を広げ、より多くの出逢いの機会を社員に提供していきたいと考えています。また、未婚の社員が、既婚の社員の家族と交流する機会などを設け、家族を持つことのすばらしさを知ってもらい、結婚にポジティブな印象を持ってもらえるような取組も行っていきたいです。

## 「安心して働ける、休める」 従業員の希望をかなえる 職場づくりを

左：病院長  
柳本 研一郎さん  
右：経営管理部  
事業企画管理課長兼  
地域事業課  
永田 雄基さん



医療法人社団プログレス  
四日市消化器病センター（四日市市）

### 企業プロフィール

業種 医療

従業員数 238名

勤務体系 シフト制・週休2日

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 結婚者が多い

### 取組事例

#### 女性が多い職場だからこそ 女性の働きやすさを追求

当院は従業員の約8割が女性であるため、女性管理職もたくさんいます。女性が働くにあたって課題となるのは仕事と子育ての両立であり、その部分のフォローアップを大切にしてきました。企業にできることは限られますが、当院は保育士を採用し、院内に保育所を設け、従業員が安心して子どもを預けて働ける環境をつくっています。保育所利用は、希望すれば誰でも第二子、第三子も制限なく利用可能です。就業時間についても、時差出勤を取り入れたり専門職のパートを採用して時間外労働を減らすなど、なるべく働きやすいようにしています。

独身の社員にとっても、これらの取組は、結婚や子育てに対して前向きになれるきっかけにもなっているようです。

#### 社員の希望をかなえ、キャリアを大切にすることは会社にとってもメリットがある

育児休業中の従業員でも、希望する場合は短時間業務に来ていただくなど、ある程度の時間内であれば勤務していただいています。その間に院内保育所に「慣らし保育」という形で子どもを預

けていただいたりしています。そうすることで、企業は働いてくれる人材が確保できるし、産休・育休の人は会社の雰囲気や状況が把握でき、また子どもも保育所に慣れることができる。どちら側にもメリットがあるのです。休業していても戻る場所がありますので、安心して休暇を取っていただくことができます。

院内保育所



#### 社外の方も交えたレクリエーションは 出逢いの場に

病院長が日頃から職員と積極的に交流し、パートナーが欲しいという職員に出逢いの場を提供すべく、会社に入出りのある取引先の男性なども招いてBBQやボウリング大会を企画しています。これらのレクリエーションには家族の参加、パートナーを連れてくることも可能です。

結婚や子育ての希望がかなう職場づくりに取り組むことは結果的に優秀な人材を確保し、社業が発展することになりますので、これからも病院長を中心に職員の思いや声を受けとめていきたいですね。



## 出逢いイベントの主催が 社員のコミュニケーションの きっかけに



左：書記長  
内田 健太さん  
右：執行委員長  
大倉 竜児さん

富士電機労働組合 三重支部（四日市市）

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 約1,200名

勤務体系 フルタイム・土日祝休

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 別視点でワーク・ライフ・バランスに取り組む

今まで当組合では家族向けや女性向けのイベントを企画、開催をしたことはありましたが、独身男性向けのイベントを企画したことはありませんでした。

普段から頑張っている企業の主力である独身男性社員に対してプライベートが充実するような社外のつながり、出逢いのきっかけをすることによって、職場環境の改善だけでなくワーク・ライフ・バランスへの取組を実施してみようと思ひ、出逢いの場づくりに挑戦しました。

#### 共に働く仲間だからこそできた 参加者へのアドバイス

イベントを開催するにあたり、組合として少しでも「安心・安全」な場を提供したいという考えもあり、「みえ出逢いサポートセンター」に相談をしました。イベントの進行に関するアドバイスや、開催場所の提案などをしていただき、全くノウハウのない私たちでも無事に安心・安全な出逢いイベントを開催することができました。

イベント参加予定者からは身だしなみや当日着ていく服装についてアドバイスを求められ、普段あまり関わりのない社員とも交流するきっかけにもなり、また参加予定の社員同士での交流もはじまり、コミュニケーションのきっかけにもなったようです。

#### 「やってよかった」、「行ってよかった」

イベント開催や参加を通じて、今まであまり関わりのなかった部署間でのコミュニケーションが生まれたり、イベントに参加しカッパルになった方からは「プライベートが充実してきた。」という声をもらったりもしました。残業や休日出勤などを減らしているという声も上がってきています。

ワーク・ライフ・バランスというと職場環境の改善や直接的な勤務時間などの調整などがイメージとして浮かびますが、プライベートを充実させるような働きかけもワーク・ライフ・バランスを整える取組の一つだと実感しました。

## 有給休暇取得の理由は聞かない！ カギは「ライフ」を中心とした 「ワーク」への意識変革

何よりも  
「家族が第一」  
代表取締役  
佐野 貴代さん



株式会社 佐野テック (三重郡菟野町)

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 67名

勤務体系 フルタイム・土日祝休



### 取組事例

#### 残業をなくし、有給休暇の取得率を 上げることで業績アップをめざす

会長の「家族が第一」という考え方のもと、結婚休暇や産休・育休など、様々な制度を充実させてきましたが、近年は特に働き方の改革に力を入れてきました。

まずは、有給休暇について、当社は取得理由を聞きません。全体会議で通年のスケジュールを徹底して共有していることもあり、有給休暇が取りやすいようで、月曜日や金曜日を有給休暇にして3連休としている社員も多いです。それを可能にしているのは、2～3年で行っている部署替え(ジョブローテーション)だと思いますが、これは非常に大きな効果があると思います。

次に、「つきあい残業」の是正など、段階的に残業をなくすことに取り組みました。一般社員には時間内で終わるための工夫が求められ、管理職にはマネジメント力が問われます。会社の業績を上向きにすると同時に、仕事のやり方を変えたりムダな作業をなくすことによるコスト削減が順調に進めば、最終的には2020年を目標に予定している賃金のベースアップも実現できる環境が整うと考えています。また、社員は

残業がなくなることにより余暇時間が増え、それを家族と過ごす時間、自分の趣味や交友関係を広げる時間に使っているようです。

#### プライベートも仕事も コミュニケーションスキルアップ

製造業ではありますが、お客様がいる限りサービス業だと思っています。そこで、みえ出逢いサポートセンターにご協力をいただき、「コミュニケーションセミナー」を全社員参加で開催。仕事はもちろん、出逢いの場でもチャンスを掴めるようなステキな内容で、社員にも自然に受け入れられて好評でした。

全社員参加による  
「コミュニケーションセミナー」



#### ワーク・ライフ・バランスの先に 「社員の幸せ」がある

社員が幸せであることが会社の幸せだと思います。出逢い、結婚の希望をかなえることや、子育て及び地域活動にしっかり向き合える時間を確保する為にも更にワーク・ライフ・バランスを進めたいと考えています。

## 変化を恐れずやってみる！ メリハリのある働き方が できる職場づくり

イクボス宣言を  
された支店長  
田宮 良則さん



日本政策金融公庫 津支店（津市）

### 企業プロフィール

業種 金融業

従業員数 43名

勤務体系 フルタイム・土日祝休

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 独自のワークライフ・マネジメント 支援制度

結婚、妊娠、出産、育児、介護に至るきめ細やかな独自のワークライフ・マネジメント支援制度を全社員に周知するためのパンフレットを作成しています。転勤が多く、転勤が離職の契機となってしまうこともあるため、勤務地を配偶者と同居可能な店舗に限定する結婚特例があり、利用する社員も多いです。

また、支店長が2017年6月にイクボス宣言をしました。育児は成長のチャンスと捉え、津支店では課長以上の管理職は全員がイクボス宣言を実施。ノー残業デーを週2日設け、家族と過ごす時間やジムや習い事など自分磨きの時間に充てるよう促しています。

#### 効率的に仕事を終わらせる工夫が 社員から生まれる

ノー残業デーなどの取組により生産性が落ちるのではないかといたった声もありましたが、業務時間内でより効率的に仕事を終わらせる工夫が社員から生まれ、生産性はまったく落ちませんでした。変化を恐れず、思い切ってやってみることが大切だと思います。

#### 男性の育児関連休暇合計3日以上の 取得率は2015年度100%を達成

ワークライフ・マネジメント支援制度によるメリハリのある働き方ができる職場環境は好評で、結婚後の仕事と家庭の両立もイメージしやすいようです。計画的な休暇取得の推進やノー残業デーなど自分自身とじっくり向き合えるような時間（余裕）を持つことで、仕事への意欲も高まり、家族を持つものは家族と過ごす時間が増え、未婚者は出逢いの機会も増えるのではないのでしょうか。

#### 男女とも働きやすい職場づくりの推進は 出逢い支援でもある

出逢いは人脈が広がるだけでなく、自身が磨かれ、成長すると考えており、津支店では社員に「人と触れ合うようなイベントへの参加」を促しています。これからも地域の皆様と出逢い、貢献していける社員が増えるよう、男女ともに働きやすい職場づくりをより一層推進していきます。

支店で中心になって  
職場環境向上を進める  
副事業統轄 黒武者 潤次さん



## 「役員が人生相談まで！」 アイデア溢れる コミュニケーションで 社員の希望をかなえたい

取締役経理部長  
佐波 久尚さん



宇野重工株式会社（松阪市）

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 134名

勤務体系 フルタイム・土日祝休

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 社内レクリエーションは 取組や制度を周知する潤滑油

当社は設計、製作、架設/据付まで一貫して行う橋梁・水門メーカーです。現在、次世代育成や女性活躍、ワーク・ライフ・バランスなど数多くの取組や制度を設定しており、社員間の交流を深めるレクリエーション行事を通年で設けるなど、より風通しの良い社風づくりに努めています。

#### 家族を持ちたい社員を支援する取組も 必要ではないか

社員から「結婚や出産・育児における制度のさらなる充実」を希望する声がありました。

子育てや介護を支援する制度があるのだから、家族を持ちたい（結婚を希望する）社員を支援する取組も必要だと思い、みえ出逢いサポートセンターに登録し、センターから紹介される様々な出逢いイベント情報を社員が日々通る階段スペースに設置しました。毎日通る場所ではありますが、目立たない場所に掲示しており、ゆっくり見ることができるよう工夫しています。社員からは好評です。

出逢いイベントやみえ出逢い  
サポートセンターの社内周知



#### コミュニケーション不足による 離職を防ぎたい

どのような取組や制度があっても、社内のコミュニケーションが不足すると周知が進まず、結果として利用が促進されません。当社は、「コミュニケーション不足による離職を防ぎたい」という思いのもと、役職にかかわらず気軽に何でも話ができる雰囲気づくりを徹底しています。

例えば当社独自の取組の1つとして、隔週水曜日の夕方から役員が談話室を解放し、役員が自ら抹茶をたてて仕事や人生の相談など何でも気軽に話ができる機会を設けています。



談話室「いっぶく」の様子

#### 雇用を守り、社員やその家族を守ることで 地域に貢献したい

しっかりと雇用を守り、社員やその家族を守ることで地域に貢献したいと思っています。女性社員の雇用も増やしていきたいため、出産後の復職や女性が働きやすい環境も一層整えたいと考えています。

## 業務の「見える化」「平準化」！ 有給休暇の取りやすさで ワークもライフも前向きに



左：岩田 香さん  
右：葛西 舞さん

株式会社エムワン（松阪市）

### 企業プロフィール

業種 調剤薬局

従業員数 62名

勤務体系 フルタイム・週休2日

男女比 男性が多い | | | | | 女性が多い

年齢層 低め | | | | | 高め

未婚割合 未婚者が多い | | | | | 結婚者が多い

### 取組事例

#### 同時に2人の妊娠報告を受け 現場は危機感でいっぱい

当社では元々残業等が多いということはありませんでしたが、スタッフの数に余裕はなく、常にギリギリで業務を行っていました。そんな中、突然同時期に2人から妊娠報告があり、現場は危機感でいっぱいでした。妊娠報告された方々の気持ちも考え、産休・育休を取得しても安心して戻って来られるように、今の人数で業務効率を上げる働き方の見直しを行いました。

#### どうい職場が働きやすいのか 全員で話し合い

まずは、どういう職場であれば全員が働きやすいか全員で話し合う場を設けました。全員で付箋に意見を書いて出し合い、話し合っただけで答えは「有給休暇の取得がしやすい職場」でした。どうしたら有給休暇が取得できるかを考え、全員が同じ業務スキルをつけることで、誰が抜けても業務がまわるようにする、業務の平準化に取組むことになりました。

全員の業務スキルを「見える化」するために、

従業員の名前と各業務が交差する表を作成し、誰かに属人化している知識の有無を確認し、わからないことを一つずつクリアしていきました。

#### 結婚に対して前向きになれる機会の提供を

業務の平準化によって、有給休暇が取得しやすい環境が整い、実際に有給休暇取得を促進していく中、働き方とともにプライベートの過ごし方もガラッと変わったことで、今まで出逢うことのなかった方々と沢山交流を持っています。ライフの部分が充実することで気持ちも前向きになり、心に余裕も生まれました。結婚している同僚の話を聞いたりすることで、結婚に対する考え方も前向きになったように思います。実際に、こういった働き方の改善を行ってから、私は結婚しました。家庭を中心に考えた生活を送ることができ、安心して働くことができています。

## 在宅ワークや子連れ出勤 「やろうと思えば方法はある！」 従業員の幸せを！

左：会長  
西井 弥生さん  
右：チームリーダー  
山根 ひとみさん



有限会社ベルクリック（松阪市）

### 企業プロフィール

業 種 オペレーション

従業員数 40名

勤務体系 フルタイム・週休2日

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 従業員の95%が女性の職場だからこそ ワーク・ライフ・バランスが重要

当社は平成25年より社内「時短推進室」を設け、労働時間の短縮への取組や、個別の事情に合わせた柔軟な働き方の提供をしています。当社がこうした取組を始めたのは、従業員40名中38名が女性であり、そのうち約7割が子育てに奮闘するお母さんであることからです。女性が結婚や出産を経験し、子育てをしながら仕事を長く続けるためには、一人ひとりの生活環境に合わせた働き方の提供は必要不可欠だと考えます。

#### 多様な働き方への対応で優秀な人材が定着

産休・育休や、有給休暇取得、中抜けなどは、それぞれ必要な時に申請できます。業務についてはチーム内でお互いに調整していただいています。

特徴的な取組としては、在宅ワークと子連れ出勤です。在宅ワークは、結婚を機に通勤が難しい場所へ引越す社員がいたのですが、本人の長く働きたいという声に応え、自宅に必要な設備を整えて、引き続き在宅で仕事ができるようにしました。子連れ出勤は、どうしても子ど

もの預け先がない時に、幼稚園教諭の資格を持った人を手配し、社内子どものお世話をしてもらおうようにしました。こういった取組を行うことで、他の社員へ影響が出ないか心配でしたが、女性同士であることや、普段からコミュニケーションが活発に取れていることで、トラブルなどはありません。

やろうと思えば、方法はある。従業員の幸せを考えた取組であれば、まずはやってみることが大切ではないでしょうか。

#### 結婚へのハードルを感じない 働き方を提供します

最近20代の若い社員が増えてきましたが、もちろんこれらの取組は、子育て中の女性のみではなく、独身者や子どもがいない既婚者など職場で働く人すべてを対象としています。家庭と仕事を両立している身近なロールモデルが社内に溢れることで、結婚に前向きになっていく従業員も増えると思います。

ワーク・ライフ・バランスへの取組が評価され、平成27年度三重県企業子宝率優秀賞を受賞しました。



## 社員交流、社内恋愛大歓迎！ 「プチコミファミリー制度」で 明るい社風

「社員の声に耳を傾けることが大事」  
代表取締役社長  
松浦 信男さん



万協製薬株式会社（多気郡多気町）

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 170名

勤務体系 フルタイム・週休2日

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 社内コミュニケーションを円滑にすると 離職率が下がる

現在170人の若い男女がいますが、他部署の人と話す機会は少なく、更にクリーンルームになっていますので、普段からマスクをしていてあまりコミュニケーションが取れるようになっていません。その結果、一時離職率が23%まで上がったことがありました。退職者に理由を聞くと、その多くから「社内で相談できる相手がないから」と言われました。上司に部下をサポートさせるシステムがあるので大丈夫だと思っていたが、「上司は自分を査定する人なので、弱みは見せられません」と。そこで、上司ではなく先輩のように気軽に話せるつながりを作ろうと「プチコミファミリー制度」を始めました。そのおかげもあって、今では離職率は5%程度まで下がりました。

#### プチコミファミリー制度で会社が活性化

プチコミファミリーとは年に1度、他部署かつ異年齢の社員8名を1組とし、食事や海外旅行などの機会をつくる制度です。会社からは一人10万円と1週間の休暇をプレゼントしてい

ます。8名で行き先や使い方を相談するため部署を超えてコミュニケーションを図る機会が増えました。

他部署で異年齢の社員同士の交流は、仕事上の良い相談相手にもなりますし、恋愛対象にもなり得ます。社風として社内恋愛を推奨していますし、こういった制度もあってか、実際に社内結婚したカップルもいますよ。

#### 社員の意見をすぐ取り入れる 明るい社風がカギ

会社から大事にされていない社員がお客様を大事にするはずがないのです。だからこそ、働きやすい職場環境づくりや社員の声に耳を傾けることは非常に大切なことだと考え、様々な取組に挑戦してきました。これからは更に地域との関わりを深めるイベントの企画を通じて社員同士だけでなく、社員と社外の方々との交流も深めていきたいですね。



社長も交えた  
総務部食事会

## 職場改革・ライフプランセミナー・ 出逢い支援のトライアングルで ライフの充実をサポート



業務課課長補佐  
増地 啓太さん

横浜ゴム株式会社 三重工場（伊勢市）

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 1,300名

勤務体系 土日休（事務）／4勤2休（工場）

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 職場改革で休みやすい環境づくりを

長時間労働の改善を進めるため、月に1日皆で一斉に帰る「定時退社日」を導入しました。また、有給休暇の取得においては、休暇を取ることによって仕事が回らなくなるのではないかと不安から「有給休暇を取りたいのに取れない」といった状況を改善すべく、工場全体で従業員の多能化（複数の業務が担える）を図りつつ、有給休暇取得者の作業に交代で入る「機動班」を工場内に整備しました。

#### 働き方やライフイベントについて 考える機会を設ける

独身者や既婚家族を対象にした内容で自身の定年退職までの働き方やライフイベントについて考えていただく機会として労使でライフプランセミナーを開催しています。ライフの充実はワークの質を高めるものであり、会社として働き方やライフイベントを考える機会を提供することには非常に意義があると思います。従業員にも好評です。

#### 必要とする方に情報を得ていただける 環境づくりを大切に

当社は三重県の「みえ出逢いサポートセンター」、伊勢市の「いせ出会い支援センター」に登録しており、様々な情報を食堂に掲示したりチラシを設置していますが、個々に声掛けなどはせず（決して押し付けることはなく）、情報を必要とする方に自然と得ていただける環境づくりが大切だと思い、取り組んでいます。

#### 地域に期待される役割を果たしたい

三重工場に勤務する従業員の多くは伊勢市内から通勤しており、市や市民から期待されていることも理解しています。「伊勢市に横浜ゴム三重工場があって良かった」と思っていただけるよう地域や行政とも連携し、従業員の希望をかなえていきたいですね。



## いせ若者応援ネットワークを 上手く活用し取組が加速 「守るものがある」ことの 素晴らしさを伝えたい



営業部課長  
茂田 城太さん

株式会社丸井鉄工所（伊勢市）

### 企業プロフィール

業種 製造業

従業員数 38名

勤務体系 フルタイム・日曜、隔週月曜休

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 従業員への思いやりから 「いせ若者応援ネットワーク」に登録

当社では「守るものがある」=モチベーションの向上、という考えが大切にされています。そのため、社内には恋愛や結婚を推奨する風土が根付いていますが、異性との出逢いが少ないことが課題だと実感していました。

そこで、従業員に出逢いの機会を提供していくため、伊勢市が実施している「いせ若者応援ネットワーク」に登録しました。そこから得られるセミナーやイベント情報を、職場に設置し、興味を持っている従業員を見かけた際に声掛けをしています。

#### セミナーへの参加をきっかけに 社内の取組が加速

結婚支援について理解を深めるため、伊勢市主催の「企業による従業員の結婚支援セミナー」に参加しました。結婚支援の現状などをお聞きし、たいへん学びの多い時間となりました。その後の交流会では、登録企業の方々と課題を共有し、従業員の結婚に対する希望を応援したいという思いを持った企業がたくさんあることに心強さを感じました。このような機会を得られること

もネットワークに登録する大きなメリットだと思います。

セミナーを経て、より取組を加速させた結果、当社の従業員が伊勢市主催の出逢いイベントに応募し、参加しました。イベント当日は参加する従業員とともに会場まで一緒に行き、緊張をほぐす働きかけをしました。終了後は、参加者全員が「楽しかった」と話しており、大変うれしく感じました。今回は参加できなかった従業員もいましたが、イベントの雰囲気や内容を互いに話すなどしており、社内コミュニケーションの一環となっているようです。

#### 今後は当社の特徴を活かした 社内イベントを

引き続き、いせ若者応援ネットワークを通した出逢いの場の周知活動や、参加する従業員のサポートなどを行ってまいります。企業同士の交流会の企画なども興味がありますね。また、当社の既婚男性が多いという特徴も活かし、従業員の家族も巻き込んだ社内イベントなど、「守るものがある」ことの素晴らしさを伝えられるイベントに取り組んでいきたいと思っています。

## 社員との徹底的な対話で 「少しだけ先回り」した支援を

「ひとは宝。社員は皆  
家族みたいなもの」  
代表取締役  
若宮 淳也さん



株式会社プロフィット（度会郡玉城町）

### 企業プロフィール

業 種 人材派遣業

従業員数 29名

勤務体系 シフト制・週休2日

男女比 男性が多い 女性が多い

年齢層 低め 高め

未婚割合 未婚者が多い 既婚者が多い

### 取組事例

#### 不規則な職務環境にあっても プライベートを充実させて欲しい

当社は特定派遣事業者として介護職員を派遣しています。介護という仕事柄、シフト制で土日仕事となる場合もあり、仕事と家の往復の日々になりがちでした。そんな中、社員には行動範囲を広げ、パートナーを見つけることで心身ともに豊かになってほしいと「みえ出逢いサポートセンター」に登録し、情報を職員に伝えることにしました。

#### 同業者が参加しやすいイベントを 自分たちでつくろう！

出逢いの情報を社員に周知するようになり、イベントに参加する者も出てきた。そんな中、社員から「自分たちと同じように介護や福祉の現場で働く人がより参加しやすいイベントを自分たちで企画してみたい」と提案がありました。シフト制で、勤務先も異なる社員が顔を合わせる機会はそれまでほとんどありませんでしたので、上手くいくのか心配でしたが、社員が互いの幸せを考え、そして業界でともに働く仲間の幸せを願い出逢いの場をつくろう！と終業後に自然と集まり、取り組みました。みえ出逢いサポー

トセンターからイベント企画についてのノウハウをいただき、実際にイベントが開催され、参加者からも好評を得ました。社員の成長にもつながったと思いますし、チームワークも格段に良くなりましたね。これからも介護や福祉の現場で働く人がより参加しやすいイベントを企画していきたいですね。

#### まずは、希望をかなえる雰囲気づくりから始めてみませんか

働き方が多様化する中で、職種によっては出逢いの希望や育児の希望をどのようにかなえていくかを考えておられる経営者も多いと思います。私どももそうでした。私どもは難しく考えず、シンプルに「社員との徹底的な対話」を行いました。社員が必要としていることや思いに耳を傾け、社員から提案を出しやすい雰囲気づくりに努めることで、ほんの少しだけ先回りした支援が自然とできるようになりました。

オフィスには、みえ出逢いサポートセンター登録証が掲示されている



## 結婚支援は従業員・企業・地域にメリット！ 会員の強みを活かしたイベントと企画で まちに活気を！



ゆめほりす伊賀立地企業連絡会（伊賀市） 会長 中井 茂平さん

### 取組事例

#### 婚活イベントと若者交流会の 二本立てで出逢いを応援

ゆめほりす伊賀立地企業連絡会は、伊賀市にある上野新都市「ゆめほりす伊賀クリエイイトランド」に立地する27の企業・団体が構成する団体です。当会では7年前より会員企業の従業員が参加できる出逢いイベントを開催しています。

初めは婚活として、テーマパークへの旅行やBBQパーティーを開催していましたが、参加者のメリットを考え、もっと広い範囲の中でお相手探しのできた方がよいと思い、平成26年度からは上野商工会議所主催の婚活イベントと連携し、会員企業の従業員が参加する場合は当会から参加費の半額を補助するようにしました。会員企業によっては残りの半額を補助し、実質参加費無料にして参加を促しているところもあるようです。

当会独自の取組もなくなったわけではなく、今は婚活ではなく若者交流会として、年に数回ボウリング大会等を開催しています。直接婚活と出さないために従業員からも気軽に参加しやすいと好評です。

実際にこれらの婚活イベントをきっかけに実際に発展し結婚をしたカップルもいます。結婚の報告を受けたときは本当に嬉しかったですね。

#### 結婚支援は、従業員・企業・地域 それぞれにメリットがある

従業員にはぜひ家庭を持っていただき、豊かな人生を送ってほしいと思っています。結婚を

することで、仕事への意欲向上や、より一層責任を持って取り組むようになって考えています。従業員が心豊かに、安定した生活を送るためにも、企業として結婚支援は取り組むべきだと考えます。

また少子化問題についても、結婚支援は重要です。人口が減少すればまちは活気を失います。その分経済活動も低迷し、企業にとっては人口減少そのものを原因とする売上減少に直結します。当会の地域社会の発展と会員企業の売上増進という目的を追求するためにも、結婚支援は効果的だと思います。

#### それぞれの企業の強みを活かした イベントも企画していきたい

今後は、上野商工会議所主催の婚活イベントとの連携は継続しながら、当会独自の若者交流会に力を入れていきます。回数を増やすだけでなく、イベントの中身を工夫していきたいですね。例えば、ガス会社にはショールームにキッチンがあるため、そこで一緒に料理をして、将来家庭を持つイメージができるものなど、会員企業が持つ強みや特徴を活かしたイベントを企画していきます。



出逢いイベントについての会議風景

## 地域みんなで「おせっかいさん」を養成！ 地域ぐるみで結婚への希望をサポート



尾鷲結婚支援実行委員会  
尾鷲結婚支援実行委員会（尾鷲商工会議所）（左から）浜田 まみ子さん 川上 悦子さん  
西井 明子さん 山本 浩之さん

### 取組事例

#### 商工会議所が中心となり、実行委員会を組織

尾鷲結婚支援実行委員会は、尾鷲市の少子化対策事業の一環で、平成28年度より尾鷲商工会議所に事務局を設け、結婚を希望している地域住民を応援しています。

実行委員会のメンバーは、一般公募で集まった10名の男女（商工会議所女性部や青年部、地域の市民団体に所属している方もおられます）で構成されており、そのほとんどが働きながら活動を行っています。

多様な活動を行っているメンバーでイベントを企画・運営することで、より良い出逢いの場を提供できると考え、実行委員会制を採択しています。

これまでに年2～4回の出逢いイベントを企画・運営し、多数のカップルが誕生しています。

#### 地域の方も多数参加した 「おせっかいさん養成セミナー」

実行委員会としての最初の取組は、「おせっかいさん養成セミナー」の主催でした。結婚支援の現状や、結婚を希望する方を様々な面からサポートするための心構えを学び、結婚を応援する人としてのスキルアップを目指すためです。

このセミナーは参加者に限りはなく、地域の方にも大勢参加していただきました。実行委員だけでなく、まち全体に結婚を応援する人が増

えることで、結婚の希望がかないやすい地域になると考えたためです。

#### 結婚できるチャンスは誰にでもある

出逢いイベントの企画運営は今後も継続していきたくて考えていますが、おせっかいさんセミナーのように、一般の地域の方々も巻き込んで結婚支援を考えていけるような取組を行っていきたくてです。

誰にでも結婚できるチャンスはありますから、そのチャンスをしっかりつかんでいただけるよう背中を押してあげられる人々であふれた地域にしていきたいです。



BBQを通して  
交流を深める  
出逢いイベント  
「五感で楽しむ  
尾鷲の晩夏」



地域の魅力を  
活かした出逢い  
イベントを企画

## 企業担当者と連携会議を開催 「いなべ市に住む」イメージづくりを



いなべ市

いなべ市結婚支援・企業等  
連携促進事業に係る会議

### 取組事例

#### 企業との連携による出逢いの場づくりへ

いなべ市では、平成29年度から地域企業による結婚支援に関する連携促進会議を開催し、出席者に従業員の結婚支援の重要性やメリットをお伝えする中で意見交換を行い、地域企業で働く従業員向けに出逢いイベントを開催しました。同イベントは、参加者にいなべ市の魅力に触れていただけるよう体験型とし、好評でした。また、イベントでカップルとなった方を対象にした交際支援セミナーも実施しています。

#### いなべ市の未来を地域企業とともに描いていきたい

いなべ市では、これまでも積極的に出逢いの場づくりや各種セミナーを行ってきましたが、いなべ市全体に支援の輪を広げていくには、結婚支援の取組や現状について、企業との連携が必要不可欠であると考え、いなべ市の結婚支援の取組や現状を企業と共有し、これからの結婚支援の進め方を検討する会議を開催すること

なりました。

#### 広がる結婚支援の輪

会議では従業員の結婚支援の重要性を再認識し、市と連携した安心安全な出逢いイベントを開催しました。

中には、今後の取組を前向きに検討する企業も出てきました。

#### 交際支援の充実や

#### いなべ市に住むことをイメージした情報発信

平成29年度は会議の開催、出逢いの場づくり、各種セミナー（親セミナー、カップル向けセミナー）などに取り組んできました。特に今年度から開始し、好評をいただいている「カップル向けセミナー」にも力を入れ、「いなべ市に住むこと」をよりイメージしていただきやすいよう市の魅力を総合的に伝えていきたいと思っています。



「いなべ市企業婚活第一弾  
～ワクワク釣り婚活イベント～」



「いなべ meets スムージー！」



親セミナーの様子

## 若手職員によるプロジェクトチームで「津らしさ」にこだわった出会い支援を



津市

津市出会い応援事業会議

### 取組事例

#### 津で出会い、津が好きになる

津市では、平成27年度から少子化対策の一環として、地域の独身男女の出会いを支援するため、市内の多様な部署より職員が集まり、プロジェクトチームを組織。津市の魅力発信につながる出会いイベントやビジネスでも使えるコミュニケーションセミナーを開催しています。

#### アイデアを持ちよりブラッシュアップする過程で職員の連帯感も生まれる

市主催の出会い応援事業を行うにあたり、対象者により近い年齢の若手職員が多様な部署から集まり、企画や運営を行いました。出会いを求める男女のニーズにかなうイベントやセミナーを開催するため、プロジェクトチームで調査、分析し、時には外部講師も招いて職員研修も実施しました。

#### 津の魅力いっぱいのお出会いイベントが好評

企画した津の魅力いっぱいのお出会いイベントやセミナーには多数の方からのお申込があり、手応えや事業の必要性を実感しました。特に若手職員は事業を一から組み立てる経験を積むことも出来ました。また、イベントに参加いただいた市民からも好評をいただき、今後の企画を楽しみにしている方も大勢います。

#### これからも「津らしさ」にこだわった素敵な出会いの場をつくりたい

プロジェクトチームメンバーの経験や学び、連帯感を深め、出会いの場の提供はもちろん、参加者が自信を持って行動できるようなスキルアップセミナーの開催など、市民ニーズをしっかりと受け止め、より良い事業を実施していきます。



男性向けスキルアップセミナー

平成29年度開催イベント  
「コ・ン・カ・津！～福きたる♡フルーフ大福～」プロジェクトチーム  
リーダー 長谷川 堅一さん

## 「いせ出会い支援センター」を核に ひと・企業・地域に広がる ネットワークの輪



伊勢市

いせ出会い支援センター  
“若者の希望をかなえる拠点”

### 取組事例

#### 県内市町では初の出会い支援施設 「いせ出会い支援センター」を開設

平成27年10月、結婚を希望する人やその親などから相談を受けたり、「出会いの場」の情報提供を行う施設として「いせ出会い支援センター」を開所しました。今日まで大変多くの方に利用をいただいております。平成29年度からは企業・団体と連携し、若者の「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ことを目的とする、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」の運営を行うこととなりました。

#### 企業・従業員・地域の成長につながる取組

伊勢市では出逢いの場の情報提供を中心に、企業や市町を含め、社会全体で結婚の希望を応援する地域づくりに取り組んでいます。こうした地域づくりには企業による取組が重要であること、25歳～39歳の未婚者の約7割が企業等で働いているという実態などを踏まえ、市域全体で若者の「希望」をかなえるためには、特に企

業による結婚支援の取組が重要であると考えています。

#### いせ若者応援ネットワークの輪が どんどん広がっています

企業による反応はとても良く、ネットワークへの登録社も141社（平成30年1月末現在）を超え、登録いただいた企業からも従業員への結婚支援についてご相談いただく機会が増えています。

#### 企業向けの様々な事業を企画していきます

平成29年度は登録企業数を200と設定しており、南勢地域の企業を中心にさらに登録を呼びかけていきます。また、平成29年11月には従業員の結婚を支援する重要性やメリットについてより理解を深めていただくための企業向けのセミナーを開催。セミナー後は市長を交えての交流会も開催し、異業種交流の場としても大いに盛り上がりました。

今後はネットワーク登録企業向けの出会いの場づくりなども企画していきます。

職員の（左から）大西 幸佳さん、  
西村 祐子さん、渡部 絵里奈さん企業向けセミナー  
企業が従業員の結婚を応援する重要性や  
メリットについてお伝えしました伊勢市主催出会いイベント（ハロウィンパーティ）  
今後はネットワーク登録企業向けの  
出会いイベントも企画

## 従業員の幸せのために何ができるのか ～「ふくい結婚応援企業」 職場の縁結びさんの活動～



経営企画グループ人財開発チーム  
(左) サプリダー 小川 早登子さん  
(右) チームリーダー 反保 剛昌さん

株式会社福井銀行（福井県）

### 取組事例

#### きっかけは、福井県を活性化したい という思いから

少子高齢化や若者の流出など福井県が抱える課題に対し、福井に根差す（創業118年）銀行として地域に貢献するため、職場でのつながりを活かした縁結びを推進し、社会全体で出会いと結婚を応援する気運を高めようとする県の取組「ふくい結婚応援企業」に登録しました。婚活に関する取組に参加・協力することで従業員の「出会い」と「結婚」を社会全体で応援することにつながると考えたからです。

#### トップからの発信、経営陣の後押しにより 取組が拡大

「ふくい結婚応援企業」に登録している企業では、「職場の縁結びさん」という名称で各企業がそれぞれの職場で結婚を希望する独身者を応援する活動を行っており、縁結びさん同士で連携し、企業同士の合コンを開催しています。

当行としては入行4年目以降の独身行員を対象に他社との合コンへの参加を希望する、しないの意思確認を行うメールを個別に送信し、希望者に対しては別途合コンの案内を行っています。最初、案内することがハラスメントにならないか不安がありましたが、希望者にだけ案内するといった意思確認を行ったことで解決しました。



「人を大切に思う心が大事」と語る小川さん

これまで9回程度の合コンが実現し、参加した行員からはとても好評です。

結婚は個人の意思や選択が尊重されるものであり、結婚を希望する方にとって良いきっかけを案内できればと思っていますが、参加を強要したり、参加者に結果を聞いたりすることは決してしないように心がけています。

この取組を全社的に行っていくことを頭取がメッセージとして発したことや社内メールで活動紹介をしたことによる効果は大きかったと見えます。

#### 従業員の幸せのために何ができるか

今後の取組としては、職場の縁結びさんとしてこれからも福井県や「ふくい結婚応援企業」としっかりと連携し、個人の価値観を大切にしたい地道な活動を継続していきたいと思っています。

#### 婚活サポート活動を継続するための視点

婚活サポート活動は実績ありきではなく、従業員の幸せのために何ができるかを考え、案内することを心がける。合コン（出会いイベント）などの案内だけでなく、結婚や家族の素晴らしさを経験から伝えることも大切です。

- ① 本人の意思を確認する
- ② 立場を利用しての業務命令とはしない
- ③ 個人情報や業務内容を、参加者同士がやりとりすることにする
- ④ 活動における守秘義務を明確にする
- ⑤ 結果を聞かない（本人からの報告を待つ）



## 地元企業が一丸となり 「地域に根付く人づくり」を 婚活イベントへのポジティブな印象が 成功へのカギ



B-with (広島県)

会長 田村 晃宏さん

### 取組事例

#### 地域に根付く人をつくるための 婚活イベント

当団体は、地元企業19社が「地域に根付く人づくり」をテーマに地域活性化を目的として活動している団体で、その活動内容の一つとして婚活イベントを開催しています。

結婚し、家を建てれば自然と地元で根付きますし、地域には大きな経済効果を与えます。それは地元企業の売り上げにも直結することです。仕事においても家庭を持つことで責任感がより一層強くなり、簡単に離職する心配がなくなります。精神的にも豊かになり、やりがいもアップしますね。地域にとっても企業にとってもいいことはとても多いです。

#### 企業担当者も参加者も、婚活イベントへ ポジティブな印象を持つことが重要

各企業には窓口となる担当が2人ずついます。企画は毎回、持ちまわり制でメイン担当企業とフォロー担当企業を設定し、この2企業が中心になって考えます。持ち回り制にすることで全員が主体的にイベント企画に携わる機会をつくり、全体が前向きに楽しくイベントを企画運営していけるような雰囲気をつくっています。こうすることで、社内で参加者を募る際にも、婚活イベントに対して熱意をもってポジティブな周知をするようになりますので、従業員側も前向きに受け取り易く、参加へのハードルが下がるようです。

#### 加入企業の従業員と その友達1人まで参加が可能

普通に婚活イベントを行っても一般的な街コンと変わりがないので、参加対象者に制限を設けました。加入企業の従業員と、その友人1人までが対象です。参加申込は各企業の担当者が行うため、従業員同士で身元がはっきりしており、特に女性側に対して安心感を確立できるようにしました。

#### 地域のイベントと連動した 魅力発信もかなう内容を企画

地元である福山市はバラが特産品で、バラを推し出したお祭りがあります。今後はそのような地域のPRができる場所で婚活イベントをできないかと考えています。地域の魅力を感じていただきつつ、テーマ性のある場に出逢うことで、参加者の印象にも残りやすいと思います。より多くの方に参加していただけるような工夫も凝らしながら、今後も引き続きイベント企画に取り組んでいきます。

婚活イベントの  
風景

# 今日から始める結婚支援



企業による結婚支援は、出逢いの場づくりやお見合いなどのセッティングが全てではありません。結婚を希望する従業員が結婚しやすい職場環境をつくることも重要な結婚支援であり、支援のスタートはまずここから始めることが効果的です。

下記の3つのSTEPにならって、職場の皆さんで考え、話し合い、コミュニケーションをとりながら、結婚の希望がかなう職場環境を整えましょう。

## STEP 1 職場環境における課題を書き込みましょう

自社の職場環境において「結婚したい人が結婚しやすい環境であるか」を検証します。

- コミュニケーション環境（風通しの良さ）
  - ワーク・ライフ・バランス ● 福利厚生（特別休暇や、経済支援）
- などについて見直し、課題となっている内容を書き出しましょう。



## STEP 2 課題の解決手段や方法を職場の皆さんで話し合いましょう

STEP1で書き込んだ課題について、部署や部門、班などのグループ単位で、解決手段を話し合い、それぞれの立場から具体的な実践方法を書き込みましょう。

### ワンポイントアドバイス

グループには未婚者や既婚者、性別、年齢などの垣根を超えたメンバーで構成されることをおすすめします。一緒に働く皆さんで意見交換を行いましょう。

## STEP 3 課題の解決策はどんな「結婚支援」につながっているのか考えましょう

STEP2で考えた課題への解決手段は、どのような結婚支援につながっているのでしょうか？ 選択肢の中から当てはまるものにチェックを入れてみましょう。

記入例

課題： **出逢いが無い、出逢いの場に行けない**※

解決するには？

《課題を解決する手段》

**有給休暇取得を促進することで余暇の時間を増やし、出逢いの場に行けるようにする。**

《経営側が実践すること》

**ジョブローテーション制度を導入し、部下のマネジメントをしっかりと行う。**

《従業員側が実践すること》

**自分ができない業務を率先して学ぶように意識し、全員ができる仕事を増やす。**

《解決すると…》  仕事と生活の両立がしやすい  自分磨きができる  
 経済的な余裕ができる  出逢いの場に参加しやすくなる



皆さんが実践する場合、まずどうしたらよいか。本ページではステップ式に結婚支援への取組方をご紹介します。

課題：

解決するには？

《課題を解決する手段》

《経営側が実践すること》

《従業員側が実践すること》

《解決すると…》  仕事と生活の両立がしやすい  自分磨きができる  
 経済的な余裕ができる  出逢いの場に参加しやすくなる

結婚を希望する従業員の希望をかなえる職場づくりを行うことは、将来的に会社にとっても大きなメリットを生み出します。(本誌2頁参照)

➔ より詳しい支援内容の検討や取組についてのご相談などは、みえ出逢いサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。みえ出逢いサポートセンターと一緒に始めてみませんか？

※県民意識調査によると三重県の独身者の約8割が「いずれ結婚するつもり」と回答している一方で、現在結婚していない理由は男女とも「出逢いが無い」が多くを占めています。

# みえでえんみつけよ! みえ出逢いサポートセンターとは

## 結婚支援を行う企業・団体に向けた取組

みえ出逢いサポートセンターは「出逢いサポート企業」「出逢い応援団体」と連携しながら、企業・団体の結婚支援を応援しています。

「出逢いサポート企業」「出逢い応援団体」にご登録いただいた各企業・団体には、出逢いに関する情報発信や、結婚支援に関する各種相談対応を行っています。「従業員が結婚しやすい職場環境づくり」など、企業・団体独自の取組についても積極的にサポートしますので、お気軽にご相談ください。

### 出逢いサポート企業

結婚を希望する従業員を対象に、結婚を支援する取組を行う企業・団体などにご登録いただいています。



#### センターから受けられるサポート

- 県内各地で開催される出逢いイベント、セミナーの情報提供
- 結婚支援についてのご相談対応

### こんなご相談もお受けします!



従業員に出逢いイベントの情報をさりげなく伝えたい。



いきなり従業員に出逢いのイベントの参加を促すのは難しい…もう少し別の支援方法はないか。

センターの媒体資料等を活用し、直接的でない周知方法をご提案します。



普段の業務にも活きる「コミュニケーション力向上セミナー」などのご提案、開催に向けたアドバイスを致します。



### 出逢い応援団体

県内各地で、結婚を希望する人を対象に、出逢いイベントや各種セミナーなどを実施する企業、店舗、施設、自治体などにご登録いただいています。

#### センターから受けられるサポート

- 出逢いイベントや各種セミナー実施に向けたサポート、ノウハウの提供

### こんなご相談もお受けします!

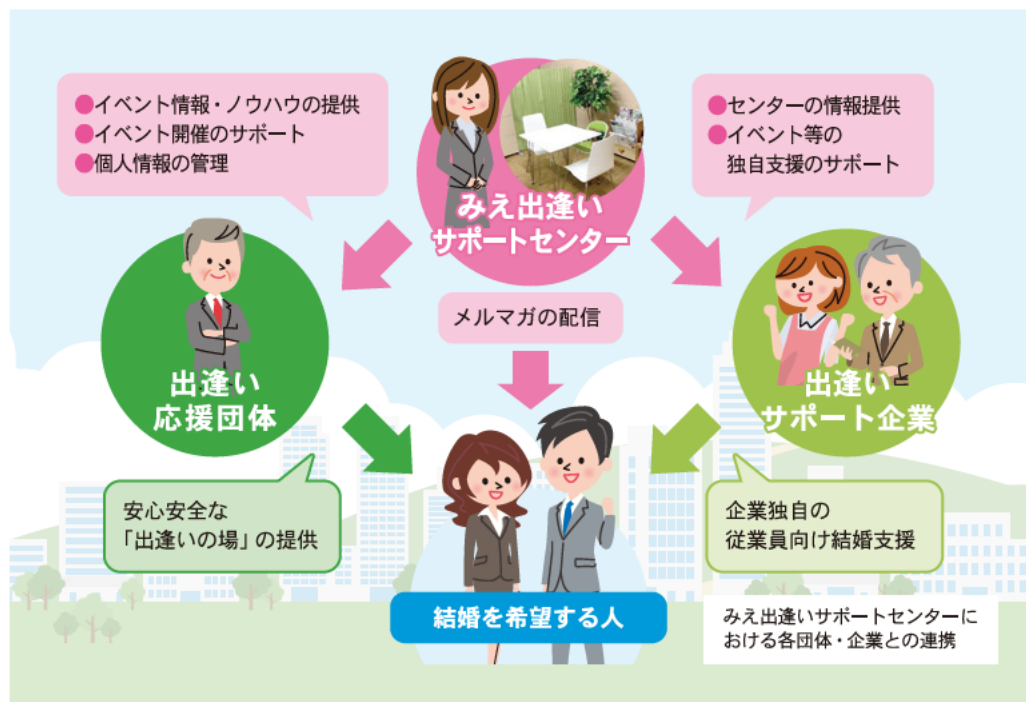


従業員を中心とした出逢いイベントを主催したい!

センターのコーディネーターが、予算やニーズに合わせたイベントの企画をアドバイスします。



みえ出逢いサポートセンターは、「結婚を希望する人」が結婚できる地域づくりの実現に向け、平成26年に三重県が設置した機関です。結婚を希望する方々のサポートだけでなく、結婚支援に取り組みたいとお考えの企業・団体のサポートも行っています。



## その他の取組

- **結婚を希望するご本人様へのサポート** 出逢いや結婚に関するご相談をお受けしているほか、出逢いイベントでカップリングした後のアドバイスも行っています。(企業、団体を介す必要はありません。)
- **お子様の結婚についてお悩みの親御様へのサポート** お子様の結婚に関するご相談をお受けしています。「親向けセミナー」等の情報提供も行っています。



## みえでえんみつけよ! みえ出逢いサポートセンター

三重県四日市市安島1-3-31 ララスクエア四日市4F  
(株式会社デルタスタジオ内)  
TEL:059-355-1322 FAX:059-355-1321 E-mail:info@deai-mie.jp

開所日:月～金曜日・10:00～18:00

<https://www.deai-mie.jp/>

みえ 出逢い

検索





みえで **え**人 みつけよじ!

みえ出逢いサポートセンター



三重県健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課

三重県津市広明町13番地 TEL:059-224-2304 FAX:059-224-2270

みえ出逢いサポートセンター

三重県四日市市安島1-3-31 ララスクエア四日市4F (株式会社デルタスタジオ内)

TEL:059-355-1322 FAX:059-355-1321 E-mail:info@deai-mie.jp